

平成24年度6月補正予算(案)

一般会計:4億787万円

(平成24年6月7日財政課)

被災地支援・防災対策、雇用・経済対策などの課題解決に取り組む予算を編成

被災地支援・防災対策

現状

- 東日本大震災に伴う大津波等による甚大な被害
- 大量に発生した災害廃棄物の迅速な処理が不可欠であり、広域処理が必要
- 津波をはじめ、東海地震等によって生じる被害への不安



ねらい・着眼点

被災地支援と「不安を安心に変える」ためのさらなる防災対策の推進

- 災害廃棄物の安全性を確認し、広域処理について市民の理解と協力を得る
- 災害時における市民のさらなる安全のため、新たな津波避難場所を確保

主な事業

- ★災害廃棄物の試験焼却とその実施に係る市民説明会等の経費(599万円)
- ★民間施設等を有効利用した津波避難ビルの指定を促進するため、機能拡充等の整備費を助成(7,000万円)
- ★防災機能を強化するため、既存小規模福祉施設に対し、スプリンクラー等の設置経費を助成(397万円)



雇用・経済対策

- 若年者の厳しい雇用状況
- 中小企業における情報面での格差
- 観光客の誘致における自治体間競争
- JR清水駅江尻口において市街地再開発事業を実施中



就労促進に向けた支援と観光・中心市街地の振興

- 求職者と中小企業の雇用のミスマッチを解消
- 自転車を活かした観光振興による交流人口の拡大
- 中心市街地の商業・業務機能の充実を図るため、保留床管理法を支援

- ★情報交換ツールとして広く普及してきている「facebook」を活用し、学生や求職者と市内の中小企業が相互に出会う機会を創出(1,344万円)
- ★東海道二峠六宿をはじめとした本市のまちの魅力を発見するレンタサイクル事業の実証実験を実施し、有効性、採算性を確認(2,874万円)
- ★都市開発資金貸付金制度を活用して、保留床取得資金を保留床管理人に貸付(2億3,600万円)

